

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	24	学校名	仙台市立高砂小学校	校長名	大河内 裕幸
------	----	-----	-----------	-----	--------

1 取組のタイトル、テーマ

みんなで高 ～「さ」支え合い ～「ご」こつこつと



2 取組の紹介

(1) ごみの分別回収

各学級や職員室・印刷室等において、可燃ごみとプラスチックごみの分別をしています。牛乳のストローとその袋も分別しています。また、職員室や印刷室では、印刷した用紙の裏紙をストックしておき、職員会議や打ち合わせ、職員へのお知らせなどで紙資料の提示をしています。



〔各学級のごみ箱〕



〔ストロー・袋回収〕



〔可燃ごみ回収場所〕



〔裏紙回収箱〕



〔プラごみ回収場所〕



〔雑紙回収箱〕

(2) 緑のカーテンづくり

環境学習の一環で、1階職員室前のベランダに毎年ヘチマを育て、緑のカーテンを作っています。これは、4年生理科の「ヘチマの育ち方」や5年生理科の「花から実へ」の学習にも活用されています。緑のカーテンは特別支援学級のベランダでも作っていて、今年はアサガオのカーテンを作りました。特に暑かった今年の夏は、遮光効果や視覚的な涼しさを提供しました。



(3) 緑化・ボランティア委員会の取り組み

児童会の「緑化・ボランティア委員会」が年に4回、学校の花壇に季節に合わせた草花を植えて、子供たちや保護者・来校者に華やかさや潤いを与えています。常に花が咲き、その美しさを愛でることができる学校環境は子供たちの心を豊かにします。また、このような活動を委員会活動の一環とすることで、勤労奉仕の心も育んでいます。



(4) 巻心を集めて緑の地球を守ろう

ニチバン巻心ECOプロジェクトに今年も継続して取り組んでいます。教職員が使ったガムテープの巻芯や子供たちが使い終わったセロハンテープの小さな巻心が、回収ボックスにどんどん集まっています。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

ごみの分別活動では、学級内でも子供たちが声を掛け合って分別している姿が見られました。回収場所を持っていった際も、技師の方々がいつもそこをきれいにしてくださっていることを意識しているのか、周辺に散らからないように運んでいます。この活動は、子供たち一人一人に「学校をきれいにしよう」「環境を守ろう」という態度を育むことにつながっています。

また、学校では、学年に応じた環境教育を進めています。地域の自然環境や地理的環境などを学び、その特性や環境を生かした学習活動を通して、自然を大切にする心、環境を守ろうとする心、物を大切にしようとする心などが醸成されていることが感じられます。